

平成25年度 学校関係者評価書

学校名	和歌山市立和佐小学校
作成日	平成26年3月10日

1 教育目標

心身ともに健康で、人間性豊かな実践力のある子どもを育てる。

2 学校の自己評価についてのご意見

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> 適切である。 今後も、保護者や地域に対して積極的に情報発信を行ってほしい。それが信頼される学校につながる。 子どもたちのためであれば、協力は惜しまない。 	<ul style="list-style-type: none"> 適切である。 自分たちの地域を知り、関わって多く活動を今後も続けてほしい。 教師は「いじめ」や「体罰」は決して許さないという意識を強くもって、子どもたちに接してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 適切である。 どの学級も活発な授業風景である。 生活リズムを整えることは、確かな学力を身に付けさせる上でも、子どもたちが自立していく上でも大切な取り組みである。

取組の状況に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> 学校だよりやホームページ・手紙・メール連絡を通して、学校の様子を発信するのは大変よい。 学校だよりは、これからも支所・郵便局・農協に置いてほしい。地域の方にも広く学校のことを知らせる機会となる。写真があると様子が分かりやすい。 地域は子どもたちのため、しっかり学校を応援し協力していく。 	<ul style="list-style-type: none"> いじめや体罰など心の荒廃や規範意識の低下が大きな問題となっている。社会生活の基本は挨拶である。お互い気持ちのよい挨拶を交わすことから心が通い合い、子どもたちの心身の状態も判断できる。学校でも挨拶運動を更に活発に進めてほしい。 これからも、すべての教育活動の中で心を育てる教育に取り組んでほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 教師の指導力向上が直接子どもたちの成長につながる。 価値観が多様化し、複雑な家庭環境の中で育つ児童も多い。子どもたちが真の学力・生活力を身に付けられるよう、地道な取り組みをお願いする。 半数の児童は熱心に読書活動に取り組んでいる。しかし、全く興味を示していない児童も少なくない。家庭の協力の必要性を感じる。
検証結果に対する意見 取組の適切さ	<ul style="list-style-type: none"> 学校だよりやホームページ・メール連絡などで学校の情報を発信できていた。郵便局などに置いている学校だよりを楽しみにしている地域の方も多し。学級だよりや学年だよりで、より具体的な子どもの様子を発信していただけたら嬉しい。 学級懇談会では、子どもたちの頑張りだけでなく、学級として抱えている課題や問題点なども話題の中に出してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 明るく元気な子どもが多い。自分から挨拶のできる子どもも増えてきた。しかし、声をかけても何の反応も示さなかったり、登校時刻を過ぎても急ぐ様子のない子どももいるので気になる。 古い校舎ではあるが、修理・修繕をきちんと行っている。落ち着いて学習できる環境づくりに努力している。 遊びの中で相手に発する乱暴な言葉が気になる。子どもたちの心を耕し、思いやりを育む学習を心掛けてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 真面目に学習に取り組んでいるクラスが多い。しかし、活発な授業風景の中にもやや覇気に欠ける子どもも見られた。子どもたち一人一人が学ぶ楽しさや喜びを味わえるよう一層の取り組みをお願いしたい。 全国学力学習状況調査の結果から、本校は「読み取る力の弱さ」や「生活リズムの乱れ(ゲーム・テレビ・読書・家庭学習等)」が明らかになったということなので、家庭とも連携しながら子どもたちの学力定着・生きる力の育成に取り組んでほしい。
改善方法に向けての 次年度に向けての意見	<ul style="list-style-type: none"> 地域、学校、家庭が一体となって和佐の子どもたちを育てていきたい。そのためにも、子どもたちの様子や学校の様子をあらゆる機会を通して情報発信してほしい。 集会発表なども連絡をいただければ参観したい。 子どもたちのためであれば協力は惜しまない。 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの人との出会いや体験がゆたかな心を育む。地域・学校・家庭の連携を更に発展させてほしい。(農業体験・高齢者施設や公民館との交流・地域の歴史学習・施設見学等) 挨拶・掃除・当番活動などに真面目に取り組むことの大切さを学ばせてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの学力や生活力の向上につながる連携をこれからも計画してほしい。 「読む」「書く」「話す」「聞く」「計算する」等の基本の力をしっかり定着させてやってほしい。 子ども一人一人が抱える課題は違う。それぞれに応じた取り組みをこれからも続けてもらいたい。

3 その他のご意見

・交通事故や水の事故(用水路・宮井川)が心配である。特に、登下校時送迎の車が学校の塀際に駐車していて、子どもたちが路側帯を歩けないのは危険である。保護者への指導・啓発をお願いします。

・コミュニケーション力の不足から、人間関係を築けない子どもが多いと聞く。また、子どもたちには「挨拶」はかなり浸透しているが、保護者の中には挨拶をしない人もいる。学校教育だけでなく家庭教育の重要性を強く感じる。どのような人間に育てたいか、親がしっかり見通して子育てをする必要がある。